



# 答えて市長！

## 一般質問

今定例会では、18名の議員が市政全般にわたり、市の見解をいただきました。その主な内容を質問者が要約してお知らせします。詳細は会議録をご覧ください。  
 会議録はホームページや市立図書館で閲覧できますが、今定例会の会議録の提供は12月上旬となる予定です。

### 市内公共交通システムの進捗状況について

戸田 馨

問 市は様々な自治体へ公共交通について視察を行っているが、それらを踏まえた市の公共交通システムの方向性を伺う。  
 答 政策室長 地域の特徴やニーズの集約を踏まえ、市民にとって利便性の高い公共交通網の構築に向けスピード感をもって取り組んでいるところである。

### ◆中小企業振興について

問 市は3月議会で「商工農まて含めた経済振興という広い観点での条例制定を調査検討する」との見解を示したが進捗状況は。  
 答 市民生活部長 市と事業者との連携により地域産業活性化のための産業振興条例として制定したい。条例の制定にとどまらず、実効性のある具体的な施策の展開まで可能な連携をはかりたい。

### ◆教育大綱策定について

問 今年度策定される「教育大綱」の方向性を伺う。  
 答 市長 「立志」「郷土愛」「未来を切り開く力」をキーワードに、一文で吉川市の教育方針がわかるような教育大綱を策定してゆ

きたいと考えている。

### 「公金等の紛失」問題の経緯と再発防止対策は

稲垣 茂行

問 紛失・盗難事故の経緯は  
 答 会計管理者 平成27年8月18日朝、会計課内の手提げ金庫に保管していた20万円の紛失が発覚。また、6月から翌28年3月の間に計4回、合計75267円が紛失しました。

問 これまで、内部調査等原因究明に努めて参りましたが、特定盗難の可能性が高い2件について、今年の8月10日、吉川警察署へ被害届を提出しました。  
 答 教育部長 平成25年6月又は7月頃、スポーツ振興課でクオカード79500円、翌26年10月頃に3万円及び27年3月頃に3万円が所在不明となりました。

問 管理体制及び再発防止への取組みは  
 答 会計管理者 事件発覚後は、2名体制でチェックを行い、新たに「吉川市金銭取扱い規定」を策定。つり銭の保管方法や報告を厳格化しています。  
 答 教育部長 現金等の確認、保

### 商業活性化事業について

中嶋 通治

問 「カスミ」が閉店するとの事であるがその状況と対策は。  
 答 市民生活部長 情報収集に努めるとともに、近隣住民の利便性が図れる企業の誘致に努める。

問 高齢者が自由に買物に行けなくなると、十分な食料品を購入できなくなり、毎日の食生活に栄養が偏り、健康に害を及ぼす、弱者の身になり考えて欲しい。  
 答 市長 道路が完成すれば場所の魅力が高まる。ネオポリスのみでなく三輪野江の人も利用していたので常にアンテナをはっていく。

問 駅前空き店舗が出来てしまふ状況は周辺が寂れ、市全体が衰退していくと思われるが、駅前における商業のあり方をどのように考えているのか。  
 答 市民生活部長 市のイメージダウンにつながり、賑わい創出

管が不十分だった。今後は、常時施設をして場所を保管し、所属長の承認を得て取り扱うこととしました。

の他にも活性化が必要。今後商業の核として、あり方も含め支援策について協議する。  
 ◆深井新田の道路整備について  
 答 都市建設部長 整備の要望を受けている。道路後退に協力頂ければ意向を確認し整備する。

### 子どもの貧困と今後の対策

林 美希

問 子どもの貧困は、重要視して各自自治体の実情にあった対策をとるべき大きな社会問題。吉川市の対策は。  
 答 健康福祉部長 子どもの貧困問題庁内連絡会議を設置した。関係施策の一覧作成、他の窓口から子育て支援課へ繋ぐよう徹底する等、関係各部署で相互に連携していく。

問 実情を把握するためアンケート実施等の予定は。  
 答 健康福祉部長 実情把握の重要性は認識している。他団体のアンケート内容を研究中。  
 問 子どもの貧困と女性の貧困の問題は切り離せない。吉川市第三次男女共同参画基本計画に位置づけられる予定はあるか。  
 答 健康福祉部長 男女共同参画

の視点から整理をして必要な事業については検討していく。  
 ◆無電柱化に対する市の考えは。  
 答 都市建設部長 有効なまちづくりの手段として認識しているが、用地・空間の確保と財政負担が大きいことが課題。吉川美南駅東口開発において一部実施していく。

### 前期計画の目標達成60% 第5次総合振興計画で

降旗 聡

問 第5次総合振興計画・前期基本計画が最終年度を迎え、後期基本計画の策定に入る。  
 答 政策室長 第5次総合振興計画は、「人とまちが輝く 快適都市 よしかわ」を将来都市像とし、まちづくりの基本理念や目標などの基本構想を定めており、基本構想を実現するための前半5年間の計画として前期基本計画を策定している。

問 前期基本計画では、計画の達成状況を測るために63の指標を測っている。平成27年度の施策評価では、63指標中38指標が目標達成もしくは達成に向けて推移している。進捗度は約60%。  
 現在、策定を進めている後期基本計画は、総合振興計画の後

半5年間の大変重要な計画である。前期基本計画の進捗状況や時勢の潮流を踏まえるとともに、より多くの市民の意見を聞きながら、計画を取りまとめっていく。

### 「コミュニケーション支援ポイント」とヘルプマーク導入を

五十嵐 恵千子

問 災害時や日常の中でコミュニケーションを取ることで困難な障がい者が意思を表示できるよう、意思確認や要望の内容を絵カードにし、それを指し示す事で意思の確認が出来る事業を。  
 答 健康福祉部長 コミュニケーション支援ポイントは導入を検討。ヘルプマークは実施に向け準備中。

◆子どもの居場所づくり拡充を  
 問 当市で実施されている事業の現状と課題、児童館の充実を。  
 答 健康福祉部長 「子どもの体験活動」は実行委員の人材発掘・育成に努める。「地域寺子屋」は事業を周知し実施地域が増えるよう働きかける。「放課後子ども教室」は学校施設の使用や子どもの安否確認など課題はあるが、実施に向け検討する。

問 公園も一体として力を入れ北部からも行きたくなくなるような児童館となるよう検討する。  
 ◆女性が更に活躍できる吉川に  
 問 子育て世代包括支援センター・不妊治療・ひとり親家庭自立支援・女性健康増進を計画へ。  
 答 市民生活部長 検討していく。

の現状と課題、児童館の充実を。  
 答 健康福祉部長 「子どもの体験活動」は実行委員の人材発掘・育成に努める。「地域寺子屋」は事業を周知し実施地域が増えるよう働きかける。「放課後子ども教室」は学校施設の使用や子どもの安否確認など課題はあるが、実施に向け検討する。